

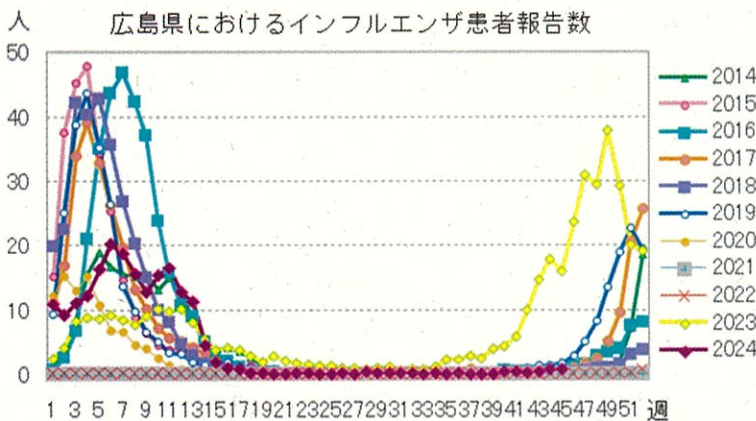
広島県感染症発生動向月報 [広島県感染症予防研究調査会] (令和6年11月解析分)

1 今月のトピックス

■ インフルエンザが本格的に流行する前に早めの対策を！！

季節性インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が広がる傾向があります。全国では第44週(10月28日～11月3日)にインフルエンザの定点当たり報告数が1を上回り、流行入りしています。1年を通して流行した2023年シーズンを除くと2009年に次いで2番目に早い流行入りとなります。また、県内においても第46週(11月11日～17日)の定点当たりの報告数が1.77人となり、流行入りしました。

この先も、空気が乾燥して気道粘膜の防御機能が低下するなど、インフルエンザにかかりやすい時期が続きます。冬季は季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念されるため、下記の対策を十分に行い、インフルエンザを予防しましょう。



■ インフルエンザを予防する有効な方法

- ・ 流行前のワクチン接種
- ・ 外出後の手洗い等
- ・ 適度な湿度(50～60%)の保持
- ・ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ・ 人混みや繁華街への外出を控える
- ・ 室内ではこまめに換気をする

■ 12月1日は「世界エイズデー」

WHO(世界保健機関)が1988年に、エイズのまん延防止や患者・感染者に対する差別偏見の解消を目的として、12月1日を「世界エイズデー」と定め、エイズに関する啓発活動などの実施を提唱しました。

運動のシンボルであるレッドリボンには、エイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージが込められています。

広島県においても、12月1日を中心に啓発活動などを実施しており、本年は12月7日に広島市内で5年ぶりのレッドリボンキャンペーンを実施します。

また、県ホームページから検査の日程等も確認できますので、検査を希望する場合は、事前に電話予約のうえ、受検ください。世界エイズデーに合わせ、検査時間を延長する保健所などもあります。



2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和 6年 10月分(令和6年10月7日～令和6年11月3日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	212	0.46	2.32	↑	11	ヘルパンギーナ	25	0.09	0.48	↓
2	新型コロナウイルス感染症(covid-19)※1	722	1.56		↓	12	流行性耳下腺炎	10	0.03	0.06	↗
3	RSウイルス感染症	59	0.20	0.55	↘	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.02	
4	咽頭結膜熱	78	0.27	0.36	↘	14	流行性角結膜炎	36	0.47	0.57	↘
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	561	1.92	0.99	↘	15	細菌性髄膜炎	1	0.01	0.00	
6	感染性胃腸炎	781	2.67	2.74	↘	16	無菌性髄膜炎	2	0.03	0.01	
7	水痘	29	0.10	0.11	→	17	マイコプラズマ肺炎	251	3.14	0.03	→
8	手足口病	696	2.38	0.88	↘	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	5	0.02	0.08		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.01	0.00	
10	突発性発しん	61	0.21	0.27	↘	※1 第19週(5/8～)から五類に変更。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 6年 10月分(10月 1日～10月 31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	61	2.65	3.17	↘	24	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	84	4.00	3.69	↗
21	性器ヘルペスウイルス感染症	24	1.04	0.85	↗	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3	0.14	0.15	
22	尖圭コンジローマ	22	0.96	0.76	↗	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.00	
23	淋菌感染症	18	0.78	1.48	↘	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 インフルエンザ (0.18 → 0.46)
- 急減疾患 Covid-19 (3.14 → 1.56)
- ヘルパンギーナ (0.21 → 0.09)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象7疾患)について,県内177の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

対象疾病No.	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	73	19	22	20	177

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	35	結核(35)〔西部保健所(5)、西部東保健所(2)、東部保健所(9)、北部保健所(3)、広島市保健所(8)、呉市保健所(2)、福山市保健所(6)〕
三類	8	腸管出血性大腸菌感染症(8)〔西部保健所(1)、東部保健所(1)、北部保健所(1)、呉市保健所(1)、福山市保健所(4)〕
四類	27	デング熱(1)〔東部保健所(1)〕 レジオネラ症(8)〔西部東保健所(2)、東部保健所(1)、広島市保健所(3)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)(3)〔北部保健所(1)、広島市保健所(2)〕 日本紅斑熱(15)〔東部保健所(9)、広島市保健所(1)、呉市保健所(3)、福山市保健所(2)〕
五類	62	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(11)〔西部東保健所(1)、東部保健所(3)、北部保健所(2)、広島市保健所(1)、呉市保健所(3)、福山市保健所(1)〕 急性弛緩性麻痺(1)〔広島市保健所(1)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔西部保健所(1)、西部東保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(2)〔広島市保健所(2)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔東部保健所(1)、広島市保健所(1)〕 梅毒(31)〔西部保健所(4)、西部東保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(18)、呉市保健所(3)、福山市保健所(4)〕 百日咳(13)〔広島市保健所(13)〕